

# ARIM 支援による低毒性多元量子ドット 最先端イメージング診断・治療技術の開発

2026年1月28日

15時～15時30分

Nanotech2026  
来場登録



シーズ&ニーズセミナーB(西1ホール)

量子ドットは数ナノメートルサイズの半導体の結晶で、中心のコアとそれを覆うシェルの二層構造を有し、サイズによって発光色が変化する。コアの材料としては当初、カドミウム系化合物が多く用いられていた。

近年では、3元素以上でコア領域を形成する「多元量子ドット」により、カドミウムフリーの低毒性化と高機能化が図られている。本セッションでは、ARIMの支援による低毒性多元量子ドットの最先端イメージング診断・治療技術の開発について実例を交えて紹介する。

小間番号  
1W-X37